

大豆だより

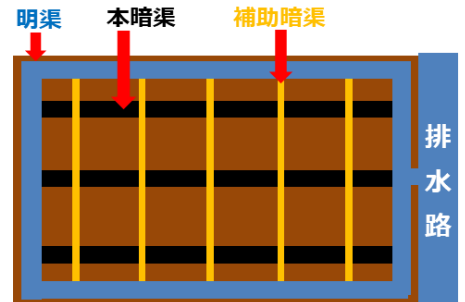
第1号
令和8年5月18日発行
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8301

基本技術を徹底し安定多収を！排水対策・土づくりは必須！

圃場準備のポイント

1 排水対策

- ・降雨は地表から排水するのが基本！明渠は必須です。
- ・明渠の深さは **30~40cm**、確実に落水口につなぎましょう。
- ・水田転換畑は湿害が発生しやすいため、弾丸暗渠やサブソイラなどの補助暗渠を組み合わせましょう。
- ・排水対策は、**生育期間中の大雨時の排水や干ばつ時のかん水にも効果を発揮します。**



2 土づくりと施肥

- ・大豆は、子実生産の 90%以上を地力と根粒菌由来の窒素に依存しています。地力や根粒菌活性が低下すると、稔実莢数や百粒重の減少により収量の低下につながります。
- ・**牛ふん堆肥 2~3t/10a** などの有機物を施用し、地力を維持しましょう。
- ・土壌 pH を **6.0~6.5** に維持するために、酸度矯正を行いましょう。
※酸度矯正のために、**苦土石灰 100kg/10a** や **炭カル 120kg/10a** を施用しましょう。
- ・基肥の目安は、10a 当たりの成分量で **窒素 2.5kg**、**リン酸 7.5kg**、**カリ 10kg** です。

播種・雑草防除のポイント

1 種子の準備・播種量

- ・紫斑病やネキリムシ等の発生を抑えるため、種子消毒を必ず行いましょう。
- ・播種量は、**里のほほえみ、秘伝 5kg/10a**、**シュウリュウ、リュウホウ 4~5kg/10a**

2 播種適期

- ・出芽安定のため、碎土率 70%以上(直径 1cm 以下の土塊の割合)となるように耕うんしましょう。
- ・播種適期は、**5月20日~6月10日**、**晩限は6月20日！** 最適な播種深度は **3cm！**
※6月20日より遅く播種する場合は、生育量不足を補うために 2 割ほど播種量を増やしましょう。

3 雑草防除

- ・土壌処理剤は、**①碎土率を高め、②適度な土壌水分を確保し、③播種直後の適期に散布することで抑草効果が高まります。**
- ・帰化アサガオ類が発生している圃場では、土壌処理剤を確実に散布し、帰化アサガオ類に**効果の高い茎葉処理剤を登録の範囲内で早めに散布**しましょう。畦畔などの圃場周辺で発生を確認したら、直ちに抜き取り、圃場への侵入を防ぎましょう。

帰化アサガオ類の一例



マルバルコウ

マルバアサガオ

STOP 農作業事故！

- 転落・転倒事故を防止しましょう！
- 農薬は、ラベルをよく確認し適正に使用しましょう！
- 熱中症に注意して作業を行いましょう！



LINE を活用した
情報発信を行っています